

~Co-creation22~

# 中期経営計画説明会

2019.06.12

JASDAQ:6542



株式会社 FCホールディングス



## ※2019年6月期 決算見通しとトピックス

1. 経営の変遷(70年の歩み)
2. 中期経営計画 ～Co-creation22～
3. 参考資料(会社概要)

本資料並びに本説明会の説明は、当社グループの現在の計画、戦略等のうち、過去の事実以外のものは当社の将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく仮定や判断に基づいてるため、将来における当社の業績や事業活動とは異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ:株式会社FCホールディングス 経営企画室

092-412-8300 ir@fchd.jp <http://fchd.jp>

## ※ 2019年6月期 決算見通し (1) 期末予想数値 (上方修正開示済)

	2018.6月期 実績 (百万円)	2019.6月期 予想 (百万円)	増減 (百万 円)		2018.6月期 実績 (百万円)	2019.6月期 予想 (百万円)	増減 (百万円)
受注高	11,066	+	+	交通 マネジメント	2,576	<b>2,610</b>	34
生産高	7,597	+	+	地域 マネジメント	287	<b>290</b>	3
売上高	6,706	<b>7,350</b> (※1)	644	環境 マネジメント	587	<b>610</b>	23
営業利益	745	<b>750</b>	5	ストック マネジメント	1,055	<b>1,230</b>	175
経常利益	748	<b>750</b>	2	リスク マネジメント	1,508	<b>1,820</b>	312
当期純利益	510	<b>400</b>	△110	建設事業 マネジメント	690	<b>790</b>	100
配当 (円/株)	25	<b>27</b> (※2)	2	合 計	6,706	<b>7,350</b>	644

※1: 期首計画売上高は70億円 ※2: 70周年記念配当5円を含みます

## ※ 2019年6月期 決算見通し (2) 期末予想数値 (配当増額開示済)

### 基本方針

#### ◆ 公約配当＋業績加算他

・27円／株：期首公約配当20円＋業績加算2円＋70周年記念5円を含む)

#### ◆ 株主優待(千株以上でクオカードの贈呈)

・3千円(保有期間3年未満)、5千円(継続3年以上保有)

### 今期追加施策

#### ◆ 株式分割 1株⇒1.1株 (2019/07/01効力発生日)

### 株価／配当の推移 (改正有報ハイライト情報準拠)

	5事業年度前	4事業年度前	3事業年度前	2事業年度前	1事業年度前	当事業年度
株価(6末終値)	430	566	552	953	820	823
MAX(期中)	473	666	672	1,300	1,022	888
MIN(期中)	299	415	421	539	746	637
日経平均終値	15,162	20,235	15,575	20,033	22,304	20,884
配当		17	18	23	25	27
配当累計	基準期末	17	35	58	83	110
株価＋配当累計		583	587	1011	903	933
株主総利回り		136%	137%	235%	210%	217%

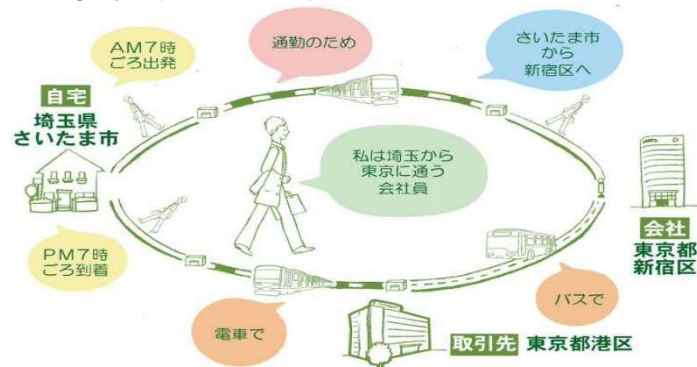
当事業年度の株価は2019/06/07終値

# ※ 2019年6月期 決算見通し (3) 今期のトピックス紹介 ①(福山コンサルタント)

## 東京都市圏・北部九州圏他の大規模交通調査

- ◆ 概ね10年おきに実施されている都市交通に関する大規模交通調査を受注
- ◆ 1日の人の動きをアンケート調査等で把握
- ◆ 次年度以降の将来予測、各種分析に活用

### ● 調査で把握する人の動きのイメージ



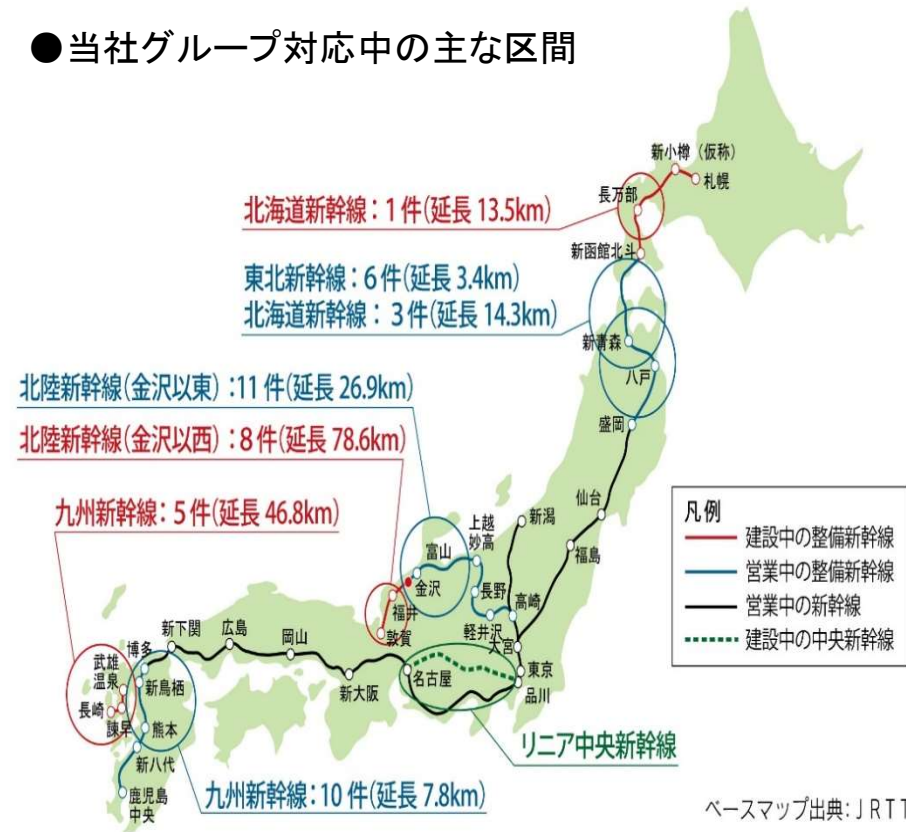
出典:東京都市圏交通計画協議会資料

調査名	主な対象地域	対象者数
第5回北部九州圏パーソントリップ調査	福岡県・佐賀県の一部	約30万世帯
第6回東京都市圏パーソントリップ調査	一都四県 ※当社は一部担当	約100万人
広島市総合通戦略交通実態調査	広島市	約3万世帯

## 新幹線建設プロジェクトへの参画

- ◆ 整備新幹線プロジェクトの設計業務を複数件受注
- ◆ 九州新幹線では施工管理業務にも参画
- ◆ 海外(アジア)の高速鉄道整備も対応中

### ● 当社グループ対応中の主な区間



ベースマップ出典: JR TT

※ 2019年6月期 決算見通し (3) 今期のトピックス紹介② (福山コンサルタント)

地元九州の主要幹線道路の整備促進業務

- ◆ 福岡県の幹線道路再整備業務  
(国道201号八木山BPの4車線化)
- ◆ 災害復興支援道路の整備促進業務  
(中九州横断道路の新設設計)



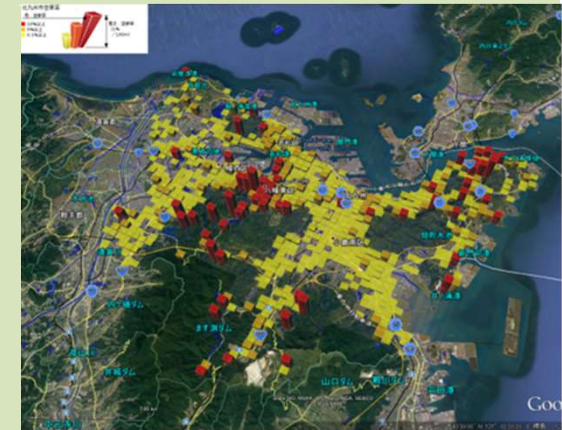
出典: 国土交通省九州地方整備局資料






「i-都市再生」のツール開発・普及メンバーに参画

- ◆ 内閣府が実施する普及促進事業を通じて、都市再生の見える化情報基盤「i-都市再生」の普及に貢献

- ◆ 2019年5月現在、延べ130人を超える行政職員が「i-都市再生自治体等交流会議」に参画して情報交換を実施中



## 1. 70年の歩み (1) 沿革

1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2020
<p>●1949.03 福山工務店創業</p>	<p>●1958.10 技術士事務所 福山コンサルタントへ改編</p>	<p>●1963.11 株式会社へ改組</p>	<p>●1967.02 海外業務に 共同参画開始</p>	<p>●1982.10 (~1997.12) (株)FCI (海外部門) 分離設立</p>	<p>●1995.03 株式上市 (店頭登録)</p>	<p>●2007.08 (~2015.06) (株)FRIC設立</p>	<p>●2017.01 (株)FCHD設立 (株式移 転)</p>	
<p>◆1960.01 北九州市に本社事務所設置</p> 	<p>◆1969.10 本社 (北九州) 社屋完成移転</p>	<p>◆1972.09 福岡事務所開設</p>	<p>◆1978.08 広島事務所開設</p>	<p>◆1982.09 東京支社社屋完成移転</p>	<p>◆1984.03 東北営業所開設</p>	<p>◆1994.07 福岡本社 (博多) 新設・移転</p> 	<p>●2009.10 (~現在) (株)環境防災子会社化</p> <p>●2011.01 (~2018.05) (株)HMB設立</p> <p>●2011.10 (~2013.04) (株)EITI子会社化</p>	<p>●2016.03 (~現在) (株)FBN設立</p> <p>●2018.07 (~現在) (株)SVI研究所設立</p> <p>●2018.08 (~現在) (株)IOP 研究所 子会社化</p>
		<p>◆1963.01 東京出張所を開設</p>		<p>◆1982.10 (~2001.05) (株)トランスポートリサーチ (運輸交通系) 設立</p>	<p>◆2002.11 東北支社社屋完成移転</p> 			

## 1. 70年の歩み (2) 中長期経営計画の変遷

## これまでの計画推移 [第1次～第3次(2019/06)の戦略ストーリー]

経営計画	第1次 2002年～2007年	第2次 2008年～2013年	第3次 2014年～2019年
経営のキーワード	基本は技術 / 福山オリジナル / ステークホルダー満足度		
展開のステップ	活路	成長	進化
目指すポジション	業界内の存在感	業界をリードする集団	社会、市場での存在感
企業集団の形	単独 ⇒ M&A戦略による再編成 ⇒ オリジナルな集団形成(HD化)		
マーケット展開	官公庁	官公庁+民間	官公庁+民間+海外再進出
役職員数/売上高	-/50億円	250人/60億円	300人/70億円

既存事業  
の強化

- 2極体制(九州・東京)の強化 (東日本帯の業容拡大)
- 他社連携(技術・マーケティング)の強化 (連携加速)
- 働きやすい職場環境の整備 (社屋整備、生産設備増強)

持株会社  
への移行

- グループ全体のガバナンス体制の強化(監査等委員会設置会社)
- グループ各社の得意分野間連携と経営のリスク分散

事業領域  
の拡大

- 研究開発体制の再編成と強化、研究開発法人SVI研究所の組成
- 新事業領域の獲得、目標社員数(500人)は途上



## 2. 中期経営計画 (Co-creation22) (1) 取り巻く環境の変化

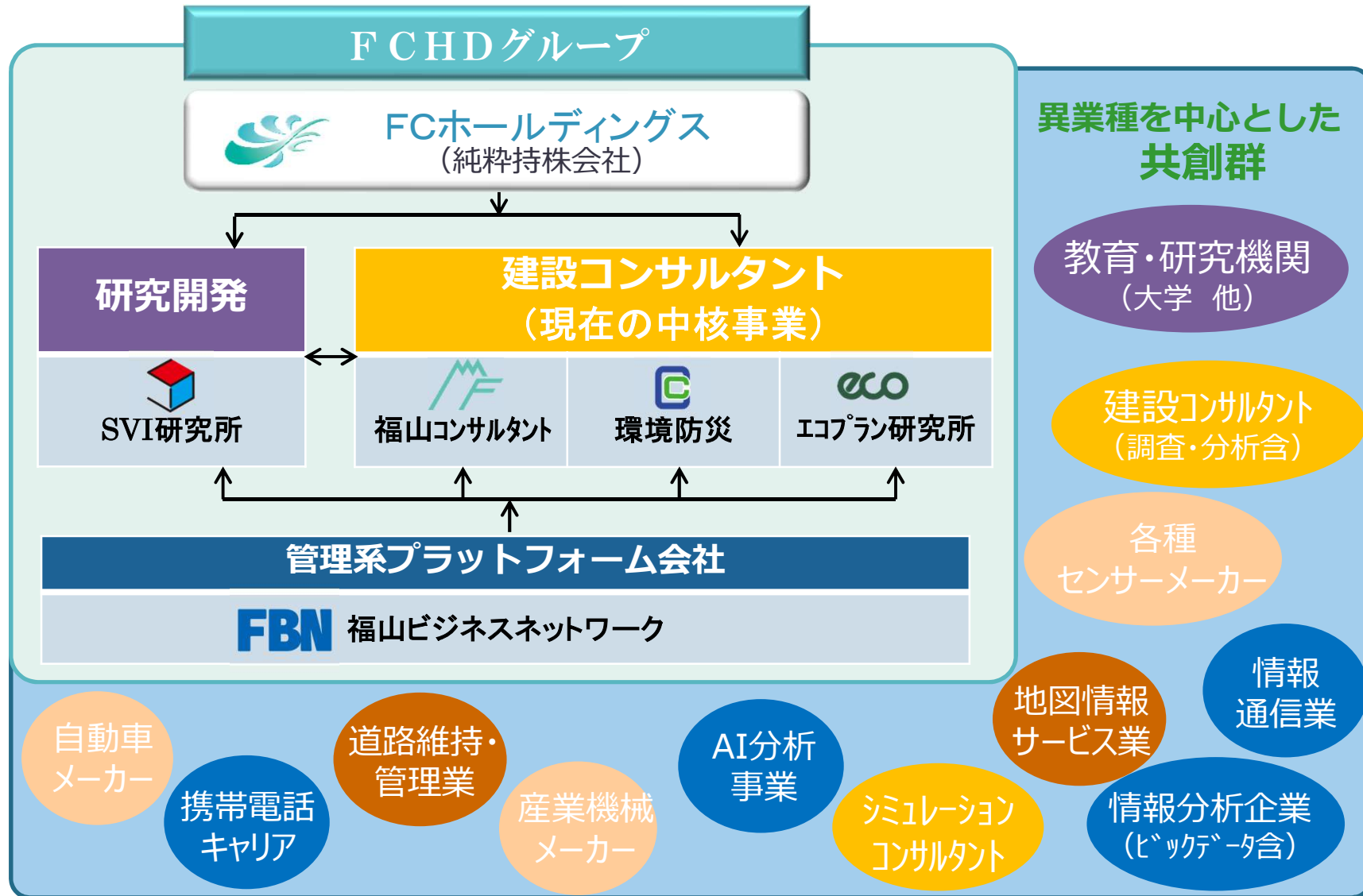
### 社会環境

- ✓ 人口減少、少子・高齢社会の急進
- ✓ 国・地方の財政悪化
- ✓ 発注機関内の専門技術者の減少
- ✓ 異常気象等、大規模災害リスクの増大
- ✓ 情報革命  
(IoT, AI、ビッグデータ、オープンデータ、自動運転等)
- ✓ SDGsの達成に向けた取り組み気運の高まり

### 事業環境

- ✓ 安定的な公共投資予算の継続 (予算規模:6兆円)
- ✓ 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」  
(2019年~3ヶ年 予算規模:7兆円)
- ✓ インフラの「新設」から「維持管理」への動きが加速
- ✓ 技術競争型契約方式の浸透
- ✓ 建設生産・管理システム改革 (i-Construction)
- ✓ CM発注方式の導入加速
- ✓ 担い手不足と多様な働き方への就労環境整備
- ✓ 改正公共工事品確法他、新・担い手3法の成立 (6/7)

2. 中期経営計画(Co-creation22) (2)グループ内外ネットワーク



## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (3)ビジネスモデルの方向性

## 商品・市場・顧客の拡大

商品	建設コンサルタント事業 ⇒ ⇒コンサルティング分野の拡張 (多分野化加速)
市場	国内市場展開 ⇒ ⇒国内市場 + 海外市場 (海外展開加速)
顧客	官公庁中心 ⇒ ⇒官公庁 + 民間 (顧客層の多層化加速)

## 2. 中期経営計画 (Co-creation22) (4) グループ企業理念

Strong Culture  
 ~「基本は技術」~

経営理念  
 【Mission】

新しい価値の創造により社会の持続的発展に貢献します

目指す姿  
 【Vision】

1. 我々は高い技術力を基本とした事業活動で顧客満足を達成します
2. 上質な顧客価値の創造により利益を生み社会と株主に対する責任を果たします
3. 全従業員が仕事に誇りをもち仕事を通じて人間的成長と幸福を達成します

行動指針  
 【Rule】

1. 多様な分野の専門技術と連携し社会課題の解決に向けて挑戦を続ける
2. 健全で透明性の高い誠実な経営を持続する

FCホールディングス

Founder's Consultants Holdings Inc.  
 (新しい価値を創造する専門家集団)

## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (5)計画のフレームワーク

## F C H D 中期経営計画

計画期間：2019.7～2022.6 (3事業年度)

## ～Co-creation22～

『豊かさ』と『安心』に満ちた社会の共創

## 共創する技術サービス

- 人々が豊かに安心して住み続けられる社会の創造を支援する「技術」
- 強靱で、地球環境に優しい社会の創造を支援する「技術」

## 基本戦略

1

次世代事業の創出

(事業の多様化)

2

コアコンピタンスの追求

(比較優位事業の深化)

3

多様な人財の雇用と継続教育

(顧客要求価値の多様化)

4

I C T 活用による生産性向上

(生産の効率化)

## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (6)基本戦略と戦術 ①

## 1. 次世代事業の創出(事業の多様化)

**投資予算額：20億円超(3年累計) > 期間営業CF**

## SVI研究所強化

- 専任研究員 5名配置
- 市場化等アドバイザー 3名配置

事業会社  
研究開発強化

- 研究開発費 2億円/3年
- 開発責任者の特定と予算付与

M&A推進、  
提携強化

- 建コン事業 (河川、鉄道、構造物設計、CM系)
- 建コン周辺事業 (建築系)
- ICT関連企業
- 海外コンサルタント (土木・建築系、地域系)

## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (6)基本戦略と戦術 ②

## 2. コアコンピタンスの追求 (比較優位事業の深化)

事業分野	プロジェクト候補	2022.6 追加売上目標
地域価値 マネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●官民連携手法活用支援</li> <li>●社会資本整備資金調達支援</li> <li>●地域エリアマネジメント事業</li> <li>●社会課題(SDGs)に関わる事業化支援及び事業参画</li> </ul>	3億円
次世代型モビリティ マネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通ビッグデータ活用事業</li> <li>●交通モニタリング事業</li> <li>●近未来交通状況予測</li> <li>●自動運転プラットフォーム提供</li> <li>●MaaS(Mobility as a Service)事業支援</li> </ul>	
行政 マネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発注者支援事業</li> <li>●インフラ施設管理事業</li> <li>●大型インフラ事業関連の民間企業支援</li> </ul>	
インフラ マネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インフラモニタリング事業</li> <li>●構造物大規模修繕事業</li> <li>●道路総合管理事業</li> <li>●下水道維持管理事業</li> <li>●上下水道分析事業</li> <li>●高度建設材料試験事業</li> </ul>	
防災・減災 マネジメント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域防災系事業</li> <li>●河川防災事業</li> <li>●防災減災モニタリング事業</li> <li>●AI防災管理プラットフォーム提供</li> </ul>	
海外市場向け コンサルティング事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海外インフラコンサルティング</li> <li>●国内企業海外展開支援</li> <li>●海外コンサルタント組織支援</li> <li>●社会課題解決型(SDGs)事業支援</li> </ul>	

## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (6)基本戦略と戦術 ③

## 3. 多様な人財の雇用と継続教育 (顧客価値の多様化)

## 採用

- 新入社員採用 10名/年程度
- 中途採用社員採用 5名/年程度

## 教育

- 出向先(研究所・事業会社等)の多様化、拡大
- 工学博士号取得支援制度の継続
- MBA、MOT等のマネジメント系教育支援制度の創設
- 学識経験者による社内技術研究会の継続

支える  
就労環境  
の整備

- 多様な就業形態の構築
  - ◆ICTを活用した新たな就業の仕組みの導入  
(①サテライトオフィス、②在宅勤務 など)
  - ◆多様な働き方の支援システムの導入  
(①諸手当見直し・新設、②地域限定社員、③定年延長(65歳)、  
④再雇用期間延長(生涯現役:友(遊)軍制度)など)
- 執務環境整備
  - ◆社屋建設(広島・徳島)、高性能検査分析機器導入、など



## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (6)基本戦略と戦術 ④

## 4. ICT活用による生産性向上(生産の効率化)

時間生産性:5%UP

## 実施方針

- 生産システム開発投資 2億円/3年
- 開発内容
  - ①社内に蓄積された成果を活用したAIシステム開発
  - ②定形的作業のRPA本格導入

## 主なシステム等

- 統計データ等検索システム
- 現地調査自動整理システム
- データ図化、解析システム
- 水質分析、材料試験新システム
- 社内事務基幹システム

## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (7)目標とする経営指標 ①

## ＜成長率、ROE、研究開発比率 等＞

売上成長率	5%/年
営業利益率	10%以上
ROE	10%以上
売上高/事業・ 研究開発費率	5%以上
株主総利回り	中長期的な向上

## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (7)目標とする経営指標 ②

## ＜売上高、営業利益、当期純利益 等＞

(百万円・人)

項目	2019. 6 予想	2022. 6 計画
売上高	7,350	8,500
営業利益	750	900
当期純利益	400	500
役職員数	340	380

## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (7)目標とする経営指標 ③

## ＜セグメント別売上目標＞

(単位:百万円)

セグメント		2019.6予想	2022.6計画	増加額
商品	建コン事業	6,820	7,800	980
	非建コン事業	530	700	170
	合計	7,350	8,500	1,150
市場	国内	7,320	8,200	880
	海外	30	300	270
	合計	7,350	8,500	1,150
顧客	官公庁	6,370	7,300	930
	民間	980	1,200	220
	合計	7,350	8,500	1,150

## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (8) 基本戦略成果の一例 ① (福山コンサルタント)

### 渋谷駅東口歩行者空間整備効果分析

- ◆ 東京都心(渋谷駅)で進む拠点整備プロジェクトに参画
- ・ 画像センサーを活用した歩行者流動把握、歩行者シミュレーション等による地下道、ペDESTリアンデッキの整備効果分析を実施



### 品川駅周辺土地区画整理事業関連交通解析

- ◆ 交通施設整備により急速に進化する品川駅周辺整備プロジェクトに参画
- ・ 市街地開発に伴う幹線道路への交通影響分析等を実施



2. 中期経営計画(Co-creation22) (8) 基本戦略成果の一例 ② (福山コンサルタント)

スマートシティモデル事業重点化促進プロジェクト

- ◆ 参画した2つのコンソーシアムが国土交通省のスマートシティモデル事業重点化プロジェクトに選定 (全国23事業)
- ・ 重点化プロジェクト：専門家の派遣や計画策定支援等により早期事業化を目指す

◎ もりやグリーンインフラ推進協議会  
 <スマートシティで目指す都市の姿>

- ・ 暮らしやすいまちづくりと自然の中での活動を促進
- ・ 自然の中で子育てしたくなるワクワクする環境
- ・ 自然を生かした地域ブランド化、新たなライフスタイルの提案

◎ 新潟市スマートシティ協議会  
 <スマートシティで目指す都市の姿>

- ・ 中心市街地の活性化、市民の健康増進
- ・ 市民、観光者の回遊を把握・評価・増加させる仕組みの構築
- ・ 既存の公共交通と先進的な交通手段を組み合わせた統合型都市交通サービスの形成

道路橋のメンテナンス新技術研究に参画

- ◆ 加速度的に進展するAI技術に着目した道路橋メンテナンスに関する新技術の研究体制が確立 (国立研究開発法人土木研究所)
- ・ IT企業、診断機関、研究機関、自治体らと共同研究するコンサルタントの一員として参画

**点検AI (画像解析)**

ディープラーニングなどの画像解析技術を活用して、変状の抽出や要検部位への誘導、採取データの分析等を行う点検AIについて、必要とされる性能を検討し、実務で使えるAIの開発を行います。



**診断AI**

AI技術等により形式化した熟練技術者の暗黙知や、既往の点検データ等を基に、診断ロジックを可視化し、技術者の判断支援を行うAIを開発します。



桁や下部構造などの劣化状態と各種要因との相関

**床版の土砂化等に対する診断**

床版の土砂化を対象に、電磁波レーダー等の技術を活用して、水の早期検出技術の検証、及び、早期検出を前提とした措置法の検討を行います。



電磁波レーダーと土砂化したRC床版のデータ例

土研の呼びかけに官民25者が集結

官民連携で研究を推進するため、建設コンサルタント、IT企業、診断機関、研究機関、地方自治体等25者から成る共同研究体制を平成30年度に立ち上げました。



共同研究キックオフ会議 (H30.10.26開催)  
 資料：国立研究開発法人土木研究所

2. 中期経営計画(Co-creation22) (8) 基本戦略成果の一例 ③ (福山コンサルタント)

海外交通インフラプロジェクトへの再進出

【JICA】

- ◆ソロモン諸島国ホニアラ交通マスタープラン調査プロジェクトに参画(共同企業体)
- ◆急増する自動車交通への対応として、交通実態調査、道路計画や公共交通計画の策定  
※5月より現地へ職員を派遣中



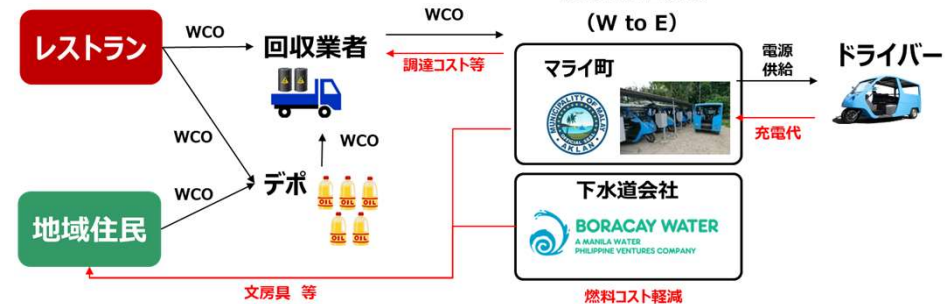
- 【経産省所管：質の高いインフラの海外展開】
- ◆「フィリピン国ガビテ地方の公共交通網基本コンセプト策定および軌道系中量輸送システム整備事業実現可能性調査」を受託(共同企業体)

JICA事業への参画による海外貢献

- 【過年度からJICA案件化調査でアジア諸国における課題解決に貢献中】
- ◆単一作物栽培(砂糖)から、高収益構造への転換を目指すフィリピン国支援のため、**熊本県内の種子メーカーの海外進出を支援**
  - ◆急速な観光地化により深刻化した環境問題解決に向け、**石川県の企業による廃食油の再資源化技術による貢献を支援**



フィリピン国農業の高収益化を目指すベビーリーフ栽培  
廃食油処理施設



フィリピン国ボラカイ島での廃食油再資源化の仕組み

2. 中期経営計画 (Co-creation22) (8) 基本戦略成果の一例 ④ SVI研究所

◆ 位置情報等ビッグデータを活用した新たな都市・地域マネジメントの開発

・(株)プログウォッチャーと「位置情報等ビッグデータを活用した新しい都市・地域マネジメント事業に関する業務連携」を締結



・コンビニエンスストア事業を手掛ける企業様より店舗開発にかかる分析業務を共同受託

位置情報をつかった全フェーズ共通の指標づくり

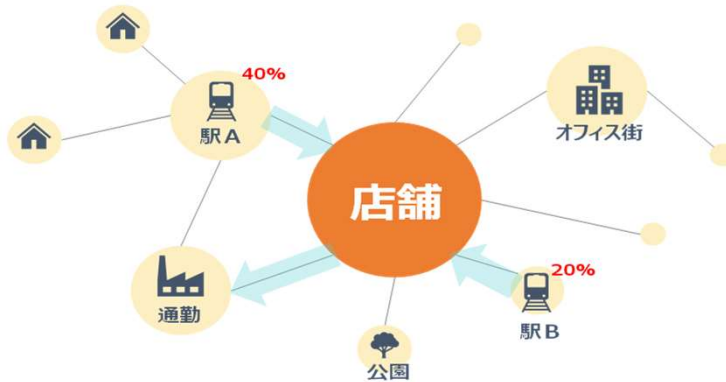
フェーズ

“商圈の質”を軸に評価

新規出店

出店直後

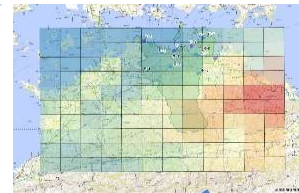
既存店舗



- 商圈の全体像と特徴を見える化
- 人の流れを定量化

◆ 各種センサ等のIoT技術を活用したモニタリングシステムと分析・可視化オープンプラットフォームの開発

- ・中小河川の水位予測AIの基本アルゴリズムが完成
- ・精度の高い水位予測AI構築を進めています

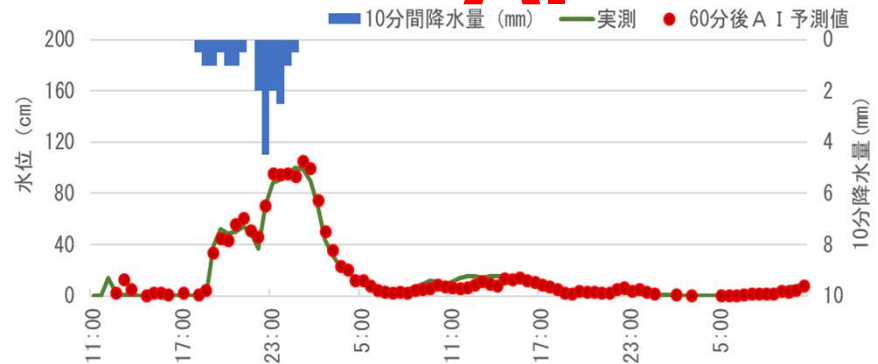


アメダスレーダ雨量計

リアルタイム水位データ



60分後の水位をAIで予測



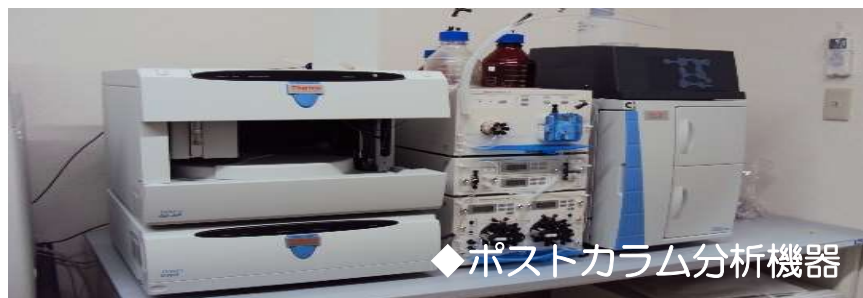
AI 水位予測結果 (60分後の水位予測結果検証)



## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (8) 基本戦略成果の一例 ⑤ (環境防災・エコプラン)

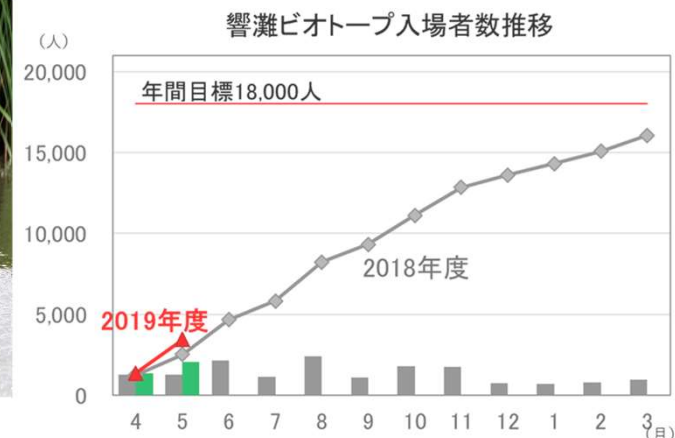
## 測定・試験技術の高度化促進

- ◆水質分析(ポストカラム分析)機器の導入  
⇒水道法水質検査機関登録申請中
- ◆材料試験機・試験棟社屋の更新完了  
⇒50mm径(2000KN)の鋼材試験  
※1台の最大測定範囲で四国初



## 響灘ビオトープの指定管理者スタート

- ◆指定管理者業務受託(2019年4月～)
  - ・NPO法人北九州ビオトープ・ネットワーク研究会、福山コンサルタントの3社共同企業体
  - ・2か月累計利用者は対前期比136%と好調に推移中(年間目標18千人/年)



## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (6)創業80周年の目標数値

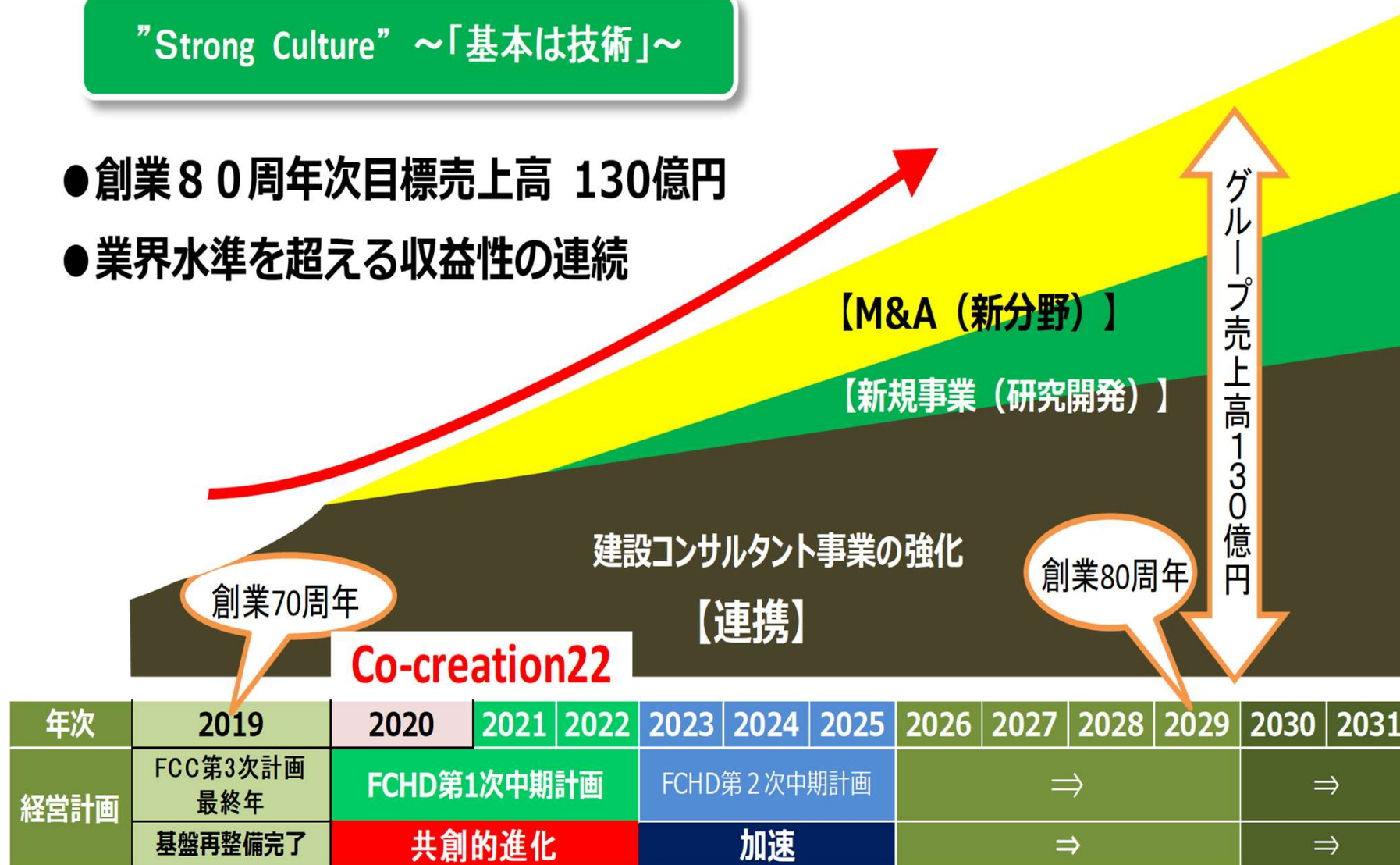
## 創業80周年(10年後)の目標水準

売上高	130億円
営業利益	15億円
ROE	10.0%超

## 2. 中期経営計画(Co-creation22) (7)長期へ繋ぐ:80年そして100年企業へ

”Strong Culture” ~「基本は技術」~

- 創業80周年次目標売上高 130億円
- 業界水準を超える収益性の連続



### 3.参考資料：会社概要

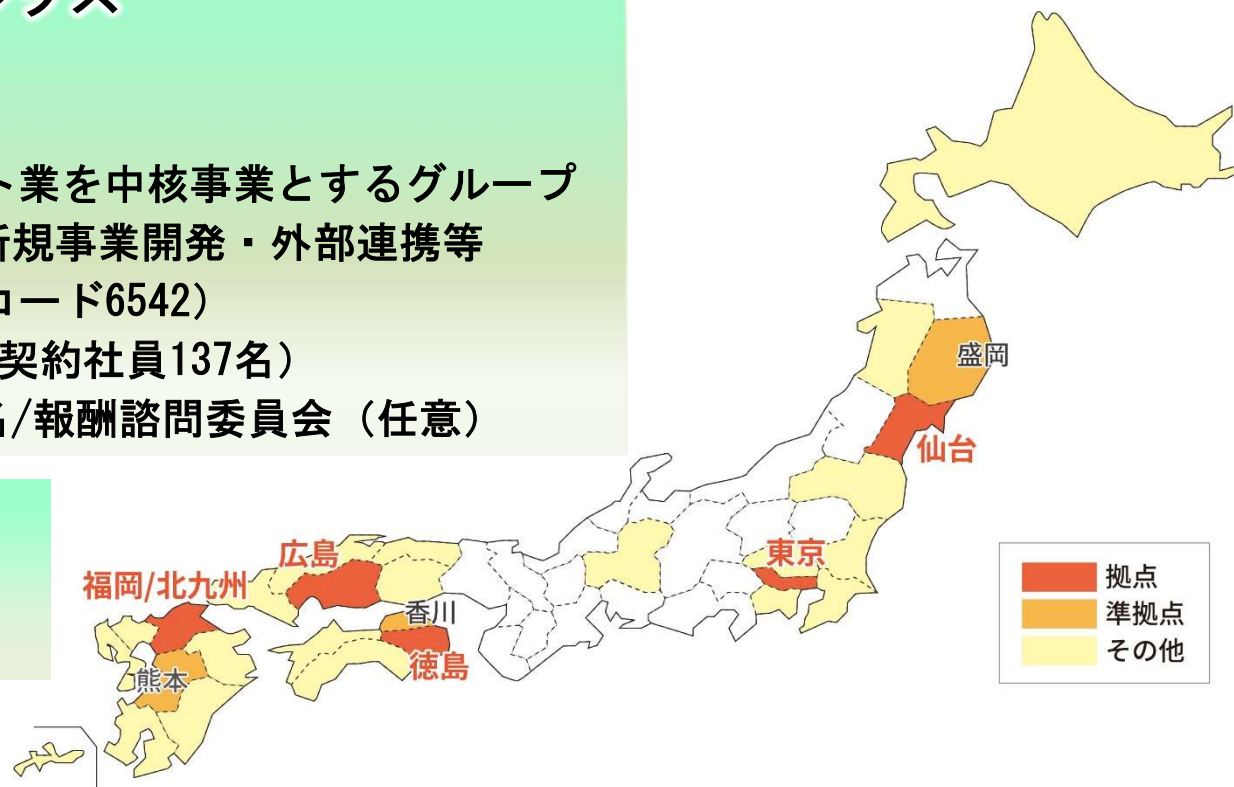
- 純粋持株会社として傘下に4社の事業会社を持つ企業集団
- 全国主要6拠点、24事業場で全国展開中

#### 株式会社 FCホールディングス

- ◇ 設立：2017年1月4日
- ◇ 資本金：4億円
- ◇ 事業内容：建設コンサルタント業を中核事業とするグループ会社の経営管理・新規事業開発・外部連携等
- ◇ 上場市場：東証JASDAQ（証券コード6542）
- ◇ 役職員数：企業集団344名（他契約社員137名）
- ◇ 委員会：監査等委員会、指名/報酬諮問委員会（任意）

#### 株式会社福山コンサルタント

- ◇ 役職員：225名
- ◇ 有資格：工学博士12名、技術士192名（延）他



#### ◆ 各種認証取得

##### 【(株)福山コンサルタント】

- ◇ ISO9001:2015 (JMAQA-154) ◇ ISO55001:2014 (MSA-AS-18)
- ◇ プライバシーマーク: 第17003301(01)号 ◇ えるぼし(認定段階1)

##### 【(株)環境防災】

- ◇ ISO9001:2015 (JSAQ 992) ◇ ISO14001:2015 (JSAE 737) ◇ JNLA登録試験事業者(ISO/IEC 17025):2009